

## 【2年 国語科】

学期		学習内容	評価方法
2 学 期	4 人間のきずな	盆土産	授業態度、ワークシート、ノート、振り返りシート、単元テスト、漢字テストなどを通して、以下の点を評価する。
		字のない葉書	
		聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す	
		表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く	
		[推敲]表現の効果を考える	
5 論理を捉えて	言葉2 敬語	【知識・技能】 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 ・古文・漢文のきまりや特徴を理解し、古典作品を解釈することができる。 など	
	漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字		
	漢字に親しもう3		
	モアイは語る——地球の未来		
	思考のレッスン2 根拠の吟味		
6 いにしへの心を訪ねる	根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く	【思考力・判断力・表現力】 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。 など	
	漢字に親しもう4		
	[討論]異なる立場から考える		
	立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する		
	音読を楽しもう 月夜の浜辺		
7 価値を語る	季節のしおり 秋	【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に登場人物の設定の仕方などを捉えたり、文章と図表を結びつけたりする学習課題に沿って考えたことを話し合ったり、伝え合ったりしている。 など	
	源氏と平家		
	音読を楽しもう 平家物語		
	扇の的——「平家物語」から		
	仁和寺にある法師——「徒然草」から		
読書に親しむ	[書く]人物の特徴を捉えて論じよう		
	漢詩の風景		
	君は「最後の晚餐」を知っているか		
	「最後の晚餐」の新しさ		
	魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く		
	漢字に親しもう5		
	文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。 →文法2 用言の活用		
	研究の現場によこそ 日本に野生のゾウやサイがいた頃／クモの糸でバイオリン		
	読書案内 本の世界を広げよう		
	季節のしおり 冬		

## 【書写】

学期		学習内容	評価方法
2 学 期	文字を使い分ける	「デザインと文字」を考えよう	【知識・技能】 ・目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書いている。 など 【思考・判断・表現】 ・目的や必要に応じて書体を選択して書くことの必要性を確かめている。 など 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで書体を選択して書く必要性を理解し、学習課題に沿って適切な書体を選んで書こうとしている。 など
		楷書と行書の使い分け	
		物語を千年書き継ぐ	

学 習 方 法	【授業の進め方とポイント】
	○授業の始めに、前回の授業内容の復習をする。定期的に漢字テストをする。
	○グループでの交流学习もする。
	○授業の終わりには、必ず振り返りシートに記入する。
	【家庭学習の進め方とポイント】
○その日の授業で書いたノートやワークシートを見返し、教科書の本文を音読する。	
○自分の力で、国語ワーク・漢字ワークを毎日1～2ページずつ進める。	